

I 次の記述が正しければ○、間違っていれば×を解答欄に記入しなさい。

アウトドアターゲットアーチェリー

問1 信号機とブザーにずれが生じ、信号機が黄色から赤に変わった後、ブザーが3回鳴る前に発射した選手がいた。審判はこれを時間外発射として最高点削除をその選手に言い渡した。
(×)

競技規則第203条第3項第2号

「(前略)音響による時間管理装置と視覚による時間管理装置との間に相違が生じた時には、音響による時間管理装置を優先する。」

補足説明

弓を引いている選手には信号機は見えなくてもブザーの音を聞くことは出来るからです。(もちろん、信号機とブザーとの間に時間的なずれは本来あってはならないことです。)

問2 男子90m・女子70mの競技が始まった後、行射距離が短いのではないかという指摘があった。測りなおしたら、どの標的も距離が25cm短いことが分かった。この試合の主催者は、この程度の誤差は許容範囲として、そのまま試合を行った。
(○)

競技規則第201条第1項

「競技場は、四角形に区切られ、距離は、各標的面に中心の直下の位置からシューティングラインまでを正確に計測する。

距離の許容誤差は、90、70、60mで±30cm、50、30mで±15cmとする。」

補足説明

但し、50・30mの行射距離の誤差が15cmを超えていることが分かれば、昼休みにでもシューティングラインを引き直すべきだと思います。

問3 行射中、跳ね返り矢が発生した。1標的に1人ずつ行射していたので、そのエンドの自分の行射が終わってから審判に知らせた。
(○)

競技規則第210条第14項第1号

「跳ね返り矢は、すべての矢の的中孔に印が付けられていて、印のない的中孔と印のある的中孔の区別が付くときには、標的面的的中孔によって得点が記録される。

跳ね返り矢が発生したとき、

- a 各標的に1名の競技者が行射している場合、当該競技者は、そのエンドの3射または6射を行射した後、シューティングライン上に残り、赤旗を頭上に挙げて審判員に合図する。
- b 各標的に2名以上の競技者が行射している場合、その標的の全部の競技者が行射を中断してシューティングライン上に残り、赤旗を頭上に挙げて審判員に合図する。
シューティングライン上のすべての競技者がそのエンドの3射(または6射)の行射を終了するか、制限時間が終了した後、ディレクターオブシューティングは競技を中断する。跳ね返り矢のあった競技者は、審判員と共に標的に進み、審判員はその的中孔を判定し、その的中孔に印を付け、後でそのエンドの得点の記録に加える。(後略)」

補足説明

1つの標的に複数の選手が同時に行射しており、同じ標的の複数の選手が跳ね返り矢を出した場合、得点の判定ができない(例えば、同じ標的を射っているA選手とB選手がどちらも跳ね返り矢を出して、10点と6点にチェックのない的中孔があった場合、どちらの的中孔がどちらの選手の射った矢のものか特定できないでしょう。)ので、跳ね返り矢が1本出た時点で、その的中孔の行射を止めなければなりません。1人行射する場合は跳ね返り矢が2本以上出てもその選手のものとは決まっていますから、行射を止める必要がないのです。この行射の後、すぐに矢取りならば、審判の立会いのもと、他の選手と一緒に矢取りをしても差し支えないと思います。

インドアターゲットアーチェリー

問4 土足禁止の会場で上履きを忘れてしまったので、裸足で試合に参加した。
(×)

競技規則第116条第3項

「競技会の期間中、競技者は、常に靴を着用しなければならない。
・ ビジネスシューズ・サンダルは認められない。」

問5 試合中、矢が足りなくなったので、ノックの色が違う矢を混ぜて使った。

(×)

競技規則第304条第7項及び第305条第7項

「(前略)各競技者の矢には、シャフトに競技者の名前またはイニシャルを書き、同じエンドの3射または6射に使用する3本または6本の矢は、同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノックとし、クレストを付ける時には同じ色の組合せの模様とする。」

補足説明

アウトドアやフィールドはもとより、看的時に他の選手と的を共有しないインドアでも、このようなことはしてはいけません。

問6 4列の縦三つ目的を4立の選手で射つ場合、射つ順番に関係なく、A立は1番左の列の的を、B立は右から2番目の列の的を、C立は左から2番目の列の的を、D立は1番右の列の的を行射する。

(○)

競技規則第308条第4項

「(前略)4枚の40cm縦三つ目的が使用される場合、競技者Aは左から第1列の標的面を、競技者Bは左から第3列の標的面を、競技者Cは左から第2列の標的面を、競技者Dは左から第4列の標的面を行射する。」

補足説明

但し、フィールドで20cmの縦三つ目的を行射するときは、インドアと異なり、射つ順番によって、行射するのが変わりますので、注意してください。

フィールドアーチェリー

問7 「ベアボウは、おもりを直接弓につけるのは許されるが、照準器やスタビライザーはつけてはいけない。クリッカーもプランジャーも駄目。」と言っている人がいるが、これは間違っている。

(○)

競技規則第407条(ベアボウ部門の用具の通則)第3項

「調節可能なアローレスト、および移動可能なプレッシャーボタン、プレッシャーポイントまたはアロープレートは、それぞれ1個のみ、弓に取り付けて使用することができる。

ただし、これらは電氣的または電子的な装置ではなく、照準の助けとなるものであってはならない。」

競技規則第408条第3項

「ベアボウ部門の競技者は、以下の用具を使用することができない。

- ・照準器
- ・ドローチェックインジケーター
- ・スタビライザー」

補足説明

プレッシャーボタンとは、プランジャーのこと、また、ドローチェックインジケーターとはクリッカーのことですつまり、プランジャーは使えるが、クリッカーは使えないということです。

問8 コースを回っているとき、マナーモードにしていた携帯電話に着信があった。行射中ではなかったし、相手が急用でかけてきたかもしれないと思い、電話に出た。

(×)

競技規則第408条第2項

「全部の部門および種別の競技者は、次の用具を使用することができない。

(1)フィールドコース内での通信装置(携帯電話を含む)、ヘッドホン及びイヤホン等を使用した装置。(第2号以下省略)」

問9 弓具トラブルが発生した場合、一時的に、行射の順番を変えてもよい。

(○)

競技規則第410条第7項

「用具の故障、予期せぬ医学的な問題が発生した場合には、行射の順序を一時的に変更することができる。(後略)」

補足説明

ターゲットの場合は、弓具トラブル等の場合、修復と射ち残した矢の補充の時間が与えられます。しかし、いくつものグループが野山に設置された的を決められた順番で射って回るフィールドでは、後続のグループがなるべくつまったりしないようにするために、この規定が設けられています。

Ⅱ インドアターゲットアーチェリーで、ある選手が制限時間内に4本射った。
次の場合、その選手の得点は何点か。

問1 40cm的を使用していて、10点に4本入っている場合。

得点

10 · 10 · 10

 合計 30 点

問2 縦三つ目的を使用していて、上10点、中10点が2本、下10点に入っている場合。

得点

10 · 10 · M

 合計 20 点

競技規則第308条(得点記録)

第4項「三つ目標的面が使用されているときには、矢をどのような順番で行射してもよいが、同じ標的面に2本以上の矢が的中したときには、その2本の矢(または3本の矢)はそのエンドの矢数に含め、最も低い矢の得点のみを記録する。

その矢はそのエンドの一部と見なされ最も低い得点の矢を記録する。その標的面の他の矢はMと採点される。(後略)」

第7項「同一競技者が所有する矢が3本または同一チームの矢が9本を超えて標的またはシューティングレーン内の床上で発見されたときには、得点の低い方から3本(または9本)の矢の得点のみが記録される。さらに、競技者に割り当てられた標的以外の標的に的中した場合は0点(Mと記載)とする。

競技者またはチームがこのことを繰り返した場合には、失格とされる。

補足説明

まず、40cm的の場合ですが、これは、第308条第7項を考えれば分かると思います。この場合はどの矢の得点も同じですから、どれか1本の矢の得点を無効にすればいいことになります。

ところが、三つ目的(縦だけでなくトライアングルも)の場合、次の原則があるわけです。

- ・ 1つの的に2本以上の矢を入れてしまった場合、最も低い点数の矢はそのままの点とし、残りの矢は0点(M)と見なす。
- ・ そのうえで、そのエンド全体(的に当たらなかった矢も含めた三つ目的全体)で最高点削除を当てはめる。

どうして三つ目的にこのようなルールがあるかというと、競技中に1つの的に矢が2本以上入ったことが分かった場合、更に空いている的に射っても有利にならないようにするためです。

このため、問題での縦三つ目的の場合は、真ん中の的に2本入った10点のうちどちらか1本がMと見なされることとなります。そのうえで縦三つ目的全体で最高点削除の考えを当てはめますので、このMと見なされた矢が記録的に有効になってしまうわけです。

もし、三つ目的で10点3本を1つの的に入れてしまった場合、この考え方から、10・M・Mで合計10点となります。その状態で更に他の的に射ち、10点に入った場合は合計10点が変わらず、6点を射ってしまった場合は6・M・Mで合計6点となります。